

合同パトロール

朝日山地森林生態系保護地域の趣旨や保全活動を理解してもらうため、登山者等へ朝日山地の保全に協力を要請するとともに、ゴミの持ち帰り等の入林マナーを守って山を楽しんでもらうため、関係者の協力を得て合同パトロールを9月23日(土)に実施しました。

今年、環境省職員、朝日山地巡視員、国有林職員の総勢17名が3箇所(泡滝～大鳥池コース、朝日鉱泉～御影森山コース、勸進代～葉山～白兔口コース)に分かれて実施しました。

今年の紅葉は例年より遅れ気味ですが、それでも稜線付近は色付きはじめており、紅葉を楽しみにした登山者にパンフレットや携帯シュガレットケースを渡してゴミの持ち帰りに協力して頂くとともに、入林マナーを守っていただくようお願いしました。



パトロールの様子



入林マナーのお願い

パトロールの結果、ゴミの投棄はありませんでしたが、アメの包み紙が休憩地で落ちていたり、ペットボトルの置き忘れがありました。

また、泡滝～大鳥池コースの七曲がりではロープによりショートカットを規制していますが、ロープを乗り越えた形跡がありました。

朝日山地は、日帰りや一泊2日で山行を楽しむ登山者が多いのですが、大鳥池で出会った4名のパーティーは、泡滝(鶴岡市)から入り以東岳～大朝日岳を經由して針生

平(小国町)まで主稜線の縦走を二泊3日で行く計画で、今日は天候がよくなくて残念だが、明日は晴天の予報なので楽しみだと話していました。

